

The 706th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

第706回 定期演奏会

鬼才スピノジが
温故知新の扉をひらく！
ハイドンの「熊」と
ベートーヴェンの「田園」

2025. **11.28** **金** **11.29** **土**
Fri, Nov. 28, 2025 / 7:00PM Sat, Nov. 29, 2025 / 2:30PM
開演 午後7時 開演 午後2時30分
(午後6時開場) (午後1時30分開場)

Kyoto Concert Hall

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線・北山駅下車
出口1・3番から南へ徒歩約5分

ロッシーニ:
歌劇「アルジェのイタリア女」
序曲

ハイドン:
交響曲 第82番
ハ長調 Hob.I-82 「熊」

ベートーヴェン:
交響曲 第6番
ヘ長調 op.68 「田園」

Rossini: L'Italiana in Algeri, opera - Overture
Haydn: Symphony No.82 in C major Hob.I-82 "The bear"
Beethoven: Symphony No.6 in F major op.68 "Pastorale"

指揮:
ジャン＝クリストフ・スピノジ
Conductor: Jean-Christophe Spinosi

京都市交響楽団

開演前は指揮者による
「プレトーク」で
お楽しみください。

11/28(金)公演=
午後6時30分開場

11/29(土)公演=
午後2時開場

「プレトーク」は
ホール・ステージ上
にて開催します。

©京都市交響楽団

入場料 2025.9.19(金) から発売

◎6,000円 ◎5,500円 ◎4,500円 ◎3,500円 ◎3,000円 (舞台後方席)

U30 前売 【一般発売に併せて販売】◎2,500円 ◎2,000円 ◎1,500円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご入場の際に年齢の確認ができる証明書のご提示をお願いする場合がございますので必ずご持参ください。※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> で販売 (チケットカウンター、チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。

U30 当日 【当日残席がある場合のみ発売】◎2,500円 ◎2,000円 ◎1,500円 ◎1,000円 ◎1,000円
※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる証明書のご提示が必要となります。※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。

金曜ペア チケット ◎10,000円 ◎9,000円 ◎8,000円

※2名様での購入がお得なチケットです。※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>、チケットカウンターで販売 (チケットぴあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。
※他の割引特典等との併用はできません (京響友の会、Club会員、障がい者割引)。※前売販売のみ。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2025年11月21日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱い (窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。

チケット
ご予約

お問い合わせ

●京都コンサートホール 075-711-3231 ●ロームシアター京都 075-746-3201
●24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード 280-854
●ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード 52844

京都市交響楽団075-222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →
京都コンサートホール075-711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



主催: 京都市交響楽団(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
協力: 株式会社ドルチェ楽器 後援: (株)エフエム京都

協賛: ローム株式会社、介護付有料老人ホーム 京都ヴィラ

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



The 706th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

第706回 定期演奏会

京響のさらなる発展を見据え、アンサンブルに磨きをかけるべくクラシック音楽の王道をゆく作品として取り上げるのは、ロッシーニの序曲とハイドンとベートーヴェンの交響曲。従来にない発想による演奏や自ら創設した楽団の活動などでクラシック音楽界に刺激を与え続けている指揮者ジャン＝クリストフ・スピノジとともに、京響の新境地を探ります。「熊」はハイドン自身がつけたタイトルではありませんが、快活な音楽が魅力的です。スピノジの手により3曲とも、様々な発見と出会えることでしょう。ご期待ください。

指揮

ジャン＝クリストフ・スピノジ

Conductor: Jean-Christophe Spinosi



フランス・コルシカ生まれ。ある者に言わせれば、スピノジはクラシック音楽における「アンファン・テリブル」である。彼は並はずれたリズム感と身体能力を持ち合わせた、音楽家＝振付師であり、従来の音楽ジャンルを超え、新たな聴衆へ働きかけ続けているヴァイオリン奏者と指揮者としての両方のキャリアを兼ね備えている。2007年からは、自ら創設したアンサンブル・マテウスとともにシャトレ劇場で毎シーズン新作オペラを指揮。ロッシーニの《試金石》(ビエリック・ソラン演出)、メサジェの《ヴェロニク》(ファニー・アルダン演出)、モンテヴェルディの《聖母マリアの夕べの祈り》(オレグ・クリーク演出)、ベッリーニの《ノルマ》(ペーター・ムスバハ演出)などを指揮。現在もシャンゼリゼ劇場、アン・デア・ウィーン劇場、ウィーン国立歌劇場で定期的に公演を行っている。客演指揮者としてもベルリン・ドイツ交響楽団、パリ管弦楽団、ウィーン国立歌劇場管弦楽団、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団、トゥールーズ・キャピトル国立歌劇場管弦楽団、スコットランド室内管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン放送交響楽団、ウィーン交響楽団など、数多くのオーケストラと定期的に共演している。2021年にはベルリン・フィルハーモニー管弦楽団にも指揮者として登場した。チェーリニア・バルトリ、マリー＝ニコル・ルミュー、フィリップ・ジャルスキーといったアーティストたちとは頻繁に共演しており、彼らとEMIヴァージン・クラシックスのために録音したアルバム『ヒーローズ』は、トリプル・ゴールドを獲得。ドイツ・グラモフォンからリリースされた『ルシファー』と『ミロワール』は、いずれもクラシカ誌の「Choc」賞を受賞している。近年の活動として、スピノジとアンサンブル・マテウスは、地球温暖化問題に対する意識を高めるためのプログラム、「ミュージック・フォー・ザ・プラネット」プロジェクトを立ちあげた。また、2024年のバリ五輪では、職業高校との共同プロジェクトから、シャンゼリゼ劇場でのヴィヴァルディのオペラの新制作まで、さまざまな形で《オリンピアード》をテーマとした活動を展開するほか、閉会式にも登場した。



京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指し、京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会等、多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリースを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2025年度は、「王道！斬新！」を主催公演のテーマとし、京響ならではの独自性と魅力ある公演を展開する。2026年には創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。

特別演奏会 第九 コンサート

2025.10/11土
から発売！



沖澤のどか

沖澤のどかが第九に登場！

京響とともに歩んだ1年を振り返る

会場：京都コンサートホール 指揮：沖澤のどか（常任指揮者） 合唱：京響コーラス

独唱：嘉目真木子（ソプラノ） 小泉詠子（メゾ・ソプラノ） 小原啓楼（テノール）※当初の予定から変更となりました。 山本悠尋（バリトン）

2025. 12.27土 午後2時30分開演 12.28日 午後2時30分開演

入場料 B 6,000円 A 5,500円 G 4,500円 C 3,500円 U30(前売) S 2,500円 A 2,000円 G 1,500円

曲目 ベートーヴェン：交響曲 第9番 ニ短調 op.125「合唱つき」